

建交労鉄道東日本本部2019年春闘方針

スローガン(案)

安倍9条改憲阻止へ、国民的共同を掲げよう!
全組合員の要求を汲み尽くした春闘を展開しよう!

第20回東日本地本代表者会議が、2月2日(土)上野事務所で行われ2019春闘方針の具体的な取り組みを討議されました。

春闘をめぐる情勢の特徴

(1) 憲法9条を破壊し、戦争国家を推進する安倍政権

(2) 財界・大企業の利益確保に向けた悪政に歯止めをかけない安倍政権

(3) 被災者本位の震災・豪雨災害復興、原発再稼働反対世論を無視する政府

(4) 野党共闘の発展と一致する要求に基づ



共同行動の強化

く共同行動の強化

(5) 2019年春闘の展望と労働組合が果たすべき役割

重点課題の具体的な取り組み

① アンケート、学習、決起集会等

② アンケート集約は、全組合員で目的を練り返し討議し、目標達成を最後まで追求します。

③ 各地本は学習・決起集会等を開催し総決起を図ります。

④ 「賃上げの大義」を掲げる職場宣伝、労働者本位の「働き方改革」や「憲法改悪阻止3000万署名」に取り組

① 統一要求月額3万6000円以上 ② JR賃上げ170円以上

③ 統一要求の基本と賃金引き上げ要求

④ 労働者犠牲を許さないたたかいを重視し、大幅賃上げ「要請はがき行動」を総力あげて展開します。

⑤ 闘争配置と統一行動へ結集

建交労鉄道岩手地本本部春闘学習会&旗開き

日時 2月25日(月) 17時30分

場所 盛岡駅前「こずかた」会費 組合補助あり

2019年3月ダイヤ「改正」、4月7日実施でねらわれている「新人事制度改正」、被災者本位の震災・豪雨災害復興、原発再稼働反対世論を無視する政府・野党共闘の発展と一致する要求に基づき共同行動の強化、春闘をめぐる情勢の特徴について!

① スト権批准一票投票。

② 全国統一行動はストライキをはじめ職場集会・宣伝行動。

③ エリ本部として、統一行動の行動配置、ストライキ戦術などを具体化します。

④ 安全・安心確保、交通の確保

⑤ 春の組合員拡大

⑥ 継続・系統的に建交労加入を働き掛け、要求闘争と一体で組合員・機関誌拡大を追求します。

⑦ アクセス協議会は対策会議を開催し、組織拡大の意思統一を図ります。

⑧ 各種署名の推進

2019年国民春闘

盛岡地区春闘共闘会議総会

2月6日県民会館第2会議室において、大幅賃上げ、8時間働いて人間らしく暮らせるしゃかいかいを。安倍9条改憲・消費税増税NO! 職場と地域から共同のたたかいで未来を拓こうと盛岡地区春闘共闘会議総会が、加盟団体から30名が集まり開催されました。

いわて労連金野議長が激励の中で、消費税増税後に社会保障の大改悪が行進している。消費税は法人税減税に使われている。消費税増税の声を上げて、安倍9条改憲阻止。大企業・大株主は大儲け、賃金は低迷している。春闘本番、大幅賃上げ実現しする闘いを挨拶があり。討論では9名の参加者から今春闘の闘う決意の発言があり閉会にあたり、菅蒲沢盛岡労連議長のガンパロウ三唱で今春闘の幕開けです。

2019年3月ダイヤ「改正」に関する説明等申し入れ

JR貨物東北支社は、当組合に「2019年3月ダイヤ改正及び効率化等の実施について」の提案・説明を行いました。

提案・説明によると、2019年3月ダイヤ改正は、「JR貨物グループ中期経営計画2021」に基づき、不採算区間の再編・小規模拠点の見直し、輸送体系見直しによる経営資源の削減を行い鉄道事業の更なる収益性向上を目指すとしています。組合は、席上いくつかの疑問点や意見について論議しましたが、改めて説明等申し入れました。

仙台総合鉄道部 乗務員関係

- (1) 列車の持替をされたい
- (2) 乗務制交替の仕業順序を変更されたい
- (3) B102 小牛田 ともに、列車持替ながら便1650のところ3052列車小からにされたい。
- (4) B54 3081列車8時58乗継とし、監視時間を4分とされたい。
- (5) 行路上発生する労働時間以外の時間60分未満は労働時間とされたい。
- (6) 冬期間DLの暖気運転のため出勤・出場時間を10分早めているが超勤扱いとされたい。
- (7) 曜日運休となる列車を明らかにすると

(2) BTセクション内に停車した場合、現行の取扱は「パン降下して輸送指令の指示を受ける」が「輸送指令の指示でパン降下」とされた。

(3) 白石〜越河間の風規制は、白石風区間を設け、25/1000の勾配での速度規制は無くされた。

(4) 閉そく信号機に「減速信号」を現示出来るようにされたい。

(5) 貨物列車を停車させる駅に「停止目標」を設置されたい。

その他

(1) 黒磯駅のカラステ対策をされたい。

(2) 仙台総合鉄道部の休養室ベッドにマットレスを設置されたい。

(3) 各区所の休養室及び休憩室のエアコンを定期的に掃除されたい。

JR貨物「人事制度改正」の問題点と課題

【問題点】

- ① 鉄道の安全を支える現業職場に評価制度はなじまない。
- ② 評価(5段階)によって意図的に格差をつける。
- ③ 評価に基準が明確になっていない。
- ④ 評価に不満がある場合は異議申し立てが出来るとしているが、一度出された評価を個人でくつがえすことは出来ない。
- ⑤ 55歳以降の減額をなくすため基本給の上限が下げられる。
- ⑥ 安全を支えるプロフェッショナル職群(社員の約70%が移行)が低賃金。社員の約70%が移行するプロフェッショナル職群(R1とR2)に一定の期間(年数)滞在すると昇給額が60%になってしまう。
- ⑦ 子育て支援と言いつつ家族手当(扶養手当)を基準外賃金に。基準外賃金とすることでポーンナスにも影響がある。

【課題】

- ① 評価制度は安全を支える業種・職種にはなじまない制度。
- ② 評価の基準を明確にさせる。公平に判断ができる者がいるのか疑問。
- ③ 基本給の基準額を廃止し、昇級の減額を行わせない。
- ④ 評価の意義申し立て、評定会議には組合が立ち会わないと対等にならない、個人対会社では勝ち目はない。
- ⑤ 家族手当は基準内賃金とさせ、配偶者手当は現行の14,000円とすること。

【結論】

人事制度改正は4月1日実施となっているが、現段階においても十分な議論となっていない。社員の人生を大きく左右する改正であり、多くの課題が残されている現状を考えると最低でも制度導入を1年見送り議論を重ねる必要があります。

スティクス関係

だが、事故のもとで、砂入れが本体に付いたこと、砂入れの機関車の除雪作業はロジが行うのか本体が行うのか、明確にされたい。

(1) 現在、岩沼及ありやめられた。賃金を日当8,000円とされたい。

(2) 臨時雇用員に、責任のある業務は管理者が行うべきである。雪作業はロジが行うのか本体が行うのか、明確にされたい。

(3) 臨時雇用員に車担当を嘱託出向社員も行うよう

(1) 臨時雇用員の賃金関係



働きやすい職場を!

安全対策関係

(1) 確認距離の短い信号機や確認しにくい信号機に中継信号機を設置されたい。

安全対策関係

(1) 確認距離の短い信号機や確認しにくい信号機に中継信号機を設置されたい。

安全対策関係

(1) 確認距離の短い信号機や確認しにくい信号機に中継信号機を設置されたい。